

西湘バイパス構造物崩落に関する調査検討委員会

設立趣意書

平成19年 9月17日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
財団法人 先端建設技術センター

西湘バイパスは、平成19年9月6日から7日の台風9号の影響により、大磯西インターチェンジから橋インターチェンジの間の延長約5.0kmにわたって被災した。

これにより、重力式擁壁が倒壊・流出し、最も流出が大きな箇所では4車線のうち海側2車線の路体部分まで流出が確認されている。

また、西湘二宮インターチェンジではランプ橋基礎が露出し、基礎杭部分が損傷を受けている。

この結果、被災した大磯西インターチェンジから国府津インターチェンジの間の約7.8kmが全面通行止めないし、一部交通規制の状況となっている。

今後は、一日も早い道路機能の回復と被災原因の調査を踏まえた将来にわたる安全確保が求められる。

これらの被災原因の調査と道路復旧方針の検討を行うにあたり、学識経験者等で構成される「西湘バイパス構造物崩落に関する調査検討委員会」を設置し、専門的立場から指導、助言をお願いするものである。